

令和4年度 理科 科  
 教科名等

校内科目名	学習指導要領の科目名	対象学年	対象クラス				単位数	分類	予定時数
α 生物基礎	生物基礎	2		D	E	F	2	自由選択	70 時間

教科担当・教材等

授業担当者名	
授業形態	講義・実験等
教科書	改訂版 生物基礎，数研出版
使用教材等	セミナー生物基礎，第一学習社

科目の目標・内容等

学習目標	1年次に学んだ内容を発展させることにより、応用力を身につけ、大学入試共通テストに対応できる力を養成する。
学習における留意点	大学入試対策を前提とした講座であり、難易度は高い。
予習・復習	毎回予習復習をきちんとしてくる努力が必要である。特に1年次に学習した内容は、事前に予習を済ませておくことが望ましい。
評価方法	定期考査、課題やレポートの提出状況、日頃の学習の取り組み状況 等で総合的に評価する。

年間授業計画

学期	単元・授業内容	学習の重点	評価の観点
1	I 生物と遺伝子 1. 生物の特徴 ・生物の多様性と共通性 ・エネルギーと代謝 ・光合成と呼吸 2. 遺伝子とその働き ・遺伝情報とDNA ・遺伝情報の発現 ・遺伝情報の分配	・生物の共通性 ・原核生物と真核生物 ・細胞小器官の構造と働き ・ATPの構造と働き ・異化と同化 ・ミトコンドリアと葉緑体の起源 ・DNAと遺伝情報、ゲノム ・細胞周期 ・DNAの複製とタンパク質合成 ・遺伝情報の発現	・学習の重点項目を十分に理解しているか。 ・実験を通して科学的手法を理解できているか。 ・科学的なものの考え方ができているか。 ・出席状況、授業態度は良好か。 ・提出物を滞りなく提出しているか。
2	II 生物の体内環境の維持 1. 生物の体内環境 2. 腎臓と肝臓 3. 神経とホルモン 4. 免疫	・体内環境と体液 ・血液の成分と働き ・心臓と血液循環 ・肝臓、腎臓の働き ・自律神経系 ・ホルモン ・生体防御	・学習の重点項目を十分に理解しているか。 ・実験を通して科学的手法を理解できているか。 ・科学的なものの考え方ができているか。 ・出席状況、授業態度は良好か。 ・提出物を滞りなく提出しているか。
3	III 生物の多様性と生態系 1. 植生の多様性と分布 ・さまざまな植生 ・植生の遷移 ・気候とバイオーム 2. 生態系とその保全 ・生態系 ・物質循環	・陸上の植生 ・乾性遷移系列 ・世界のバイオーム ・日本のバイオーム ・生態系内のエネルギーの流れ ・炭素循環と窒素循環 ・人間の活動と生態系	・学習の重点項目を十分に理解しているか。 ・実験を通して科学的手法を理解できているか。 ・科学的なものの考え方ができているか。 ・出席状況、授業態度は良好か。 ・提出物を滞りなく提出しているか。

※生徒の理解度や担当者の工夫により進度が変わるため、必ずしも計画どおりに展開するものではありません。